

中部地区 公民館だより

第156号

令和6年2月1日発行
上山市中部地区公民館
上山市十日町4番11号
TEL 673-2588
FAX 673-0379

このオイルは高
品質で安全です



これいいよね！

肌に優しいハンドクリーム



私の
お気に入り



講師の安藤竜二さん

1月21日(日)、公民館多目的ホールで、一般講座「蜜蝋ハンドクリーム教室」を開催しました。朝日町のハチ蜜の森キャンドル代表安藤竜二さんに“ハチ”についての講話と蜜蝋を使ったハンドクリームづくりの実技指導をしていただきました。講話では、様々な種類のハチの映像を見ながら、ハチの生態や役割などの説明があり、「ハチが人にもたらす恩恵はたくさんある。ハチをもっと知って仲良くしてほしい」と熱く語っていただきました。話の中で、自然環境の悪化や食品添加物、農薬(残留濃度)など関連する内容にも触れていただき、興味深い話を聞くことができました。



蜜蝋とオリーブ
オイルを計量



湯煎で蜜蝋を溶かす



容器に移しエッセンスで香り付
け、固まるまでくるくる混ぜる



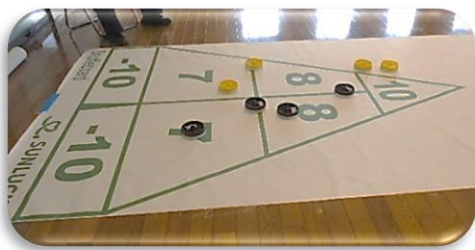
完成

講話の後、調理室に移動し、蜜蝋ハンドクリームづくりに挑戦しました。キッチンスケールとにらめっこしながら「もう少し、あともうちょっと」「あらー多くなった」「取りあえず大体で大丈夫だべ」などと、蜜蝋 22g、オリーブオイル 88g をにぎやかに計量し、湯煎で溶かし、容器に移して好みのエッセンスを入れ、くるくる攪拌し固めて完成しました。形態がどんどん変わる様子にどの工程もワクワクしながら楽しい体験ができました。自然の恵みがたっぷり入った、安心安全なハンドクリームができあがり「香りも付け心地もいいよね」と大満足の講座となりました。

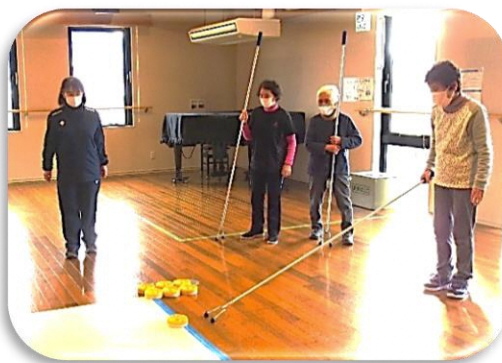
とけてきたよ！



× シャフルボード 出前スポーツ教室①



これは、どう攻略しようかな



かみのやまスポーツクラブ
齊藤郁子さん

12月22日(金)、出前スポーツ教室でシャフルボードをおこないました。
シャフルボードはディスクのコントロールと作戦が大事なスポーツです。にぎやかな笑い声と、「強く」「右側ねらって」など真剣に指示する大きな声が多目的ホールにひびきました。
1時間という限られた時間は短かったようでしたがとても楽しい時間を過ごせました。

× ボディメンテ 出前スポーツ教室②

1月10日(水)、出前スポーツ教室でボディメンテをおこないました。

ゆっくりとした音楽にあわせ、呼吸をととのえ、タオルを使いストレッチをしたり、骨盤の動きを確認しながらの運動をしました。

次に軽快なリズムにあわせて運動をおこないました。軽い運動とはいえ「手と足をバラバラに動かすのは、むずかしかった」という感想をいただきました。

はじめて開催する種目でしたが楽しく運動ができました。



山形県健康づくり推進機構
佐々木紀子さん



× カローリング はこべの会学習会



1月12日(金)、はこべの会の学習会でカローリングをおこないました。
経験者が多く、皆さん投げる姿もコースをよむ姿もとても様になっていました。

大きな声で話して、笑って寒い冬のストレス解消になりました。

歌の教室 はこべの会 学習会



音楽教室とーん・まあれ 鈴木友恵さん

1月19日(金)、はこべの会の学習会で歌の教室を開催しました。

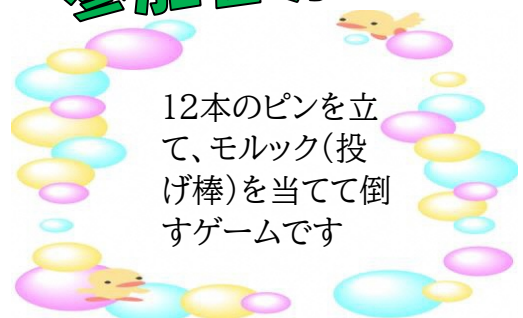
今年は冬の歌に春の歌を織り交ぜ、唱歌や歌謡曲など、合計10曲の歌をととても楽しく歌いました。



モルック 出前スポーツ教室③

参加者募集

日 時	2月19日(月) 午前10時から
場 所	中部地区公民館多目的ホール
講 師	NPO 法人かみのやまスポーツクラブ
対 象	中部地区在住の方
参 加 料	無料
申込締切	2月13日(火)
持 ち 物	屋内シューズ、必要な方は飲み物



12本のピンを立て、モルック(投げ棒)を当てて倒すゲームです

健康ポイント対象事業 20P

2月の予定

- 7日(水) はこべの会 閉級式
- 19日(月) 出前スポーツ教室③(モルック)
- 21日(水) はこべの会サロン
- 26日(月) 消防訓練②

公民館からのお知らせ

1月より中部地区公民館のメールアドレスを変更予定でしたが、諸事情の解消により、変更いたしません。



はこべの会 サロン

前回、学習した介護保険のおさらいをし、ビンゴ大会もおこないます。

日 時	2月21日(水) 午前10時から
場 所	中部地区公民館 多目的ホール
会 費	無料
締 切	2月15日(木)
持ち物	前回使用した資料、筆記用具

2月の百歳体操

1日、8日、15日、22日、29日

藤井松平氏シリーズ3.「松平信将侯」～7.「見る目原のこと一転、御咎め処断(下)」

嫌疑濃厚の上関根村の金兵衛は、老母妻子を捨てて逃亡、その倅が既新牢屋に入れられ何の弁解も出来ず二六時中泣き暮らし幼心に神仏に祈るさまに番人までもらい泣きしました。

牧野村太郎右衛門をお白洲に呼び出すと、威丈夫の者で微塵の言葉も発しないので倅多吉を裏町の本牢に入れ湯責め水責めにしました。結局、言い逃れできないと覚悟を決めて白状に至りました。十月二十七日の詮議で大勢の嫌疑者を厳しく調べ終えて入牢を命じました。奉行は、関根村惣左衛門に対し庄屋仲間でも頼もしく思っていたのにどうして一揆に至ったのかを尋ねると、私惣左衛門と太郎右衛門父子らは三千人の願いは村々の永年の泣訴、願いであったことを推察いただきたいと涙目に申し上げました。

さて、翌日は町内の五月の扇動に続き翌朝八幡川原に扇動した新丁の往来馬検め役の新八を詮議し、既の新牢獄に押し入れました。その次に新丁仁左衛門を引き立て責め立てました。更に二日町与平治はしらを切りつづけたので長谷屋出子こと甚吉を立ち合わせ追求、白状に及んだので牢に押し込めました。

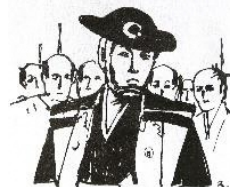
町内嫌疑の者らを十一月十二日申の刻(夕七時)に召し捕らえ役所に連行し昼夜となく取り調べ、五月十三日夜の動きを問い詰めると、四月中頃に米穀が値上がりした時に町内の筆頭中への廻状で八幡川原へ集合せよとの廻状が廻ってきたので、川原に行くと他領から米が入ってこない間に大店が困り米で穀売りを止めていて暮しに困り、お上に下し米くださるよう度々お願いしたのだが、解決せずに騒動もそこから不意に起こったのだと一同が申し上げると、首謀でない者は釈放されました。

町方の廻文は、十日町塩屋代治から始まり鷹匠町入り口から南に廻って二日町で留まり、北町に向かった廻状は新丁の幸助のところまで止まったと分かりました。廻状を書かせた吉野屋永吉を探索させると金沢村観音堂に潜んで

いたので捕縛しました。永吉の父甚兵衛は先年の飢饉に町内に米を放出しましたが、私は蓄えがないために出すことが出来ず才覚で町内の助けにもなればと思って騒動に至った、暴動者が他人の家、蓄えを破却してしまうとは夢にも思わなかったと答えました。

江戸では幕府老中列座評議の一決にて厳罰が下知され、江戸表屋敷の吉田三左衛門は極月(十二月)に、江戸御役人会合席上で当上山藩主信将侯出生の上田藩松平伊賀守様にも伺い、信将侯加番中の大坂表にも御内評を受け、使者は四百七十里を往来し十九日暮れ六つ(六時)に上山下着、翌二十日は御先君(信通侯?)ご命日につき刑罰沙汰を延ばし、明二十一日夜明けから処断を言い渡しました。

新丁仁左衛門、二日町与平治、御公儀の御制禁を背いて一起企て、御家人へ狼藉、御城下騒動、その咎百姓どもよりも重いが格別の御慈悲を以て打ち首、関根惣左衛門、牧野村太郎左衛門、太吉は言語道断の罪状かぞいかたなく磔にも行われるべきだが格別の御慈悲をもって打ち首獄門と処断し、牧野村太郎右衛門、倅太吉、上関根村惣左衛門は街道筋花立て坂中ほどに獄門としました。その他町方、在方は所払い(追放)、過料とし、また重役渡辺小隼人は本務怠慢のゆえ俸禄五分の一減俸のうえ奉行格はぎ取り隠居、下役人も同等の処置を下しました。沢庵禅師の「上中下説」の「中」役人と「下」町衆百姓衆に処断を下し、越年して御重役は江戸に出立しました。「郷民は国穩やかになることを祈りました」と『奥海道五巴』は締めくくられています。



宇留野勝弥編「宇留野春庵」(湯上和気彦著より)

※参考文献：もっぱら「奥海道五巴」②④、その他に「上山市史」、「上山三家見聞日記」①⑦、「上山間見聞随筆」①⑧⑨、「秦善左衛門日記手控」④を参照しました。